

英語プレゼン・ワークショップ

2009.10.27

毛受敏浩

英語でのプレゼンとは？

テーマについて発表者から聴衆が学ぶ場



プレゼンを素材に参加者がお互いに意見や情報を出し合ってテーマについての理解を深める場



したがって英語のプレゼンとは
⇒知的好奇心を刺激させるもの

後の議論が活発化するような発表
がよい

⇒プレゼンとQ&Aの時間は半々

プレゼンの二種類

1. 相手を説得するもの

例 ビジネスのセールス

東京都のオリンピック誘致,etc.

2. 情報を伝えるもの

例 自分の自治体の紹介

政策の説明,etc.

プレゼンで考えるべきこと

1. プレゼンの目的は何か？

- ・どのようなシチュエーションか？
- ・プレゼンがどのような意味を持つのか？
- ・プレゼンによって得られる効果は？

プレゼンで考えるべきこと

2. プレゼンの聴衆はだれか？

- プレゼン内容についての知識は？
- どのような関心を持っていそうか？
- 何人か？男女比、年齢は？

プレゼンで考えるべきこと

- 3. どんなメッセージを伝えたいか？

相手に何を理解をしてもらいたいのか？

- ・プレゼン内容を正しく理解してもらおう
- ・自分に関心をもってもらう
- ・将来につながる関係をつける

プレゼンの準備の基本

1. 伝えたいメッセージを(ひとつ)決める
2. メッセージを伝えるための情報を集める
3. 集めた情報を整理して順序をつける

プレゼンの手順

1. 起→承→転→結

- よい点 ストーリー性がある
- 悪い点 失敗するとメッセージが分かりにくい

2. 結論を先に出す方法

- ・よい点 言いたいことが最初にわかる
- ・悪い点 結論を補強する情報が十分でないと説得力に欠ける

⇒どちらのアプローチでもよい

情報の提示のしかた

1. バリエティをもたせる

- 具体例、データ、写真などを適宜まぜる

2. 徐々に核心にせまっていく

3. 途中で脱線情報をいれてもよい

発表の基本

1. 声をはっきり出す
2. 英語の音読を事前にする
(日本語の発声と使う筋肉が違う)
3. 発表が楽しみになるぐらい準備を周到にする
4. ジェスチャー

ジェスチャーの基本

1. 眼力(めじから)
2. 手のひらを上に向けておく
3. 別人格を演じるつもりで

自己紹介のしかた

- 話すテーマとの関連性の説明
 - ⇒ 話に説得力を持たせる
 - ⇒ 興味を持たせる
- ・ パーソナルな話、家族の話、食事の話などをいれると雰囲気がかくだける

内容に入る前に(つかみ)

軽い話題を入れる

⇒聴衆との距離を縮める

⇒聴衆に親しみをもってもらう

例：会議の印象、その土地の印象

食事の話、プレゼンに関係のある話

ストーリー性のある自己紹介

プレゼン準備の最後に考えるべきこと



[Redacted text block]



[Redacted text block]



[Redacted text block]